



君の手で無限に拓いていく未来

未来を見つめる体験学習、未来を覗く学問探究講義

令和元年度卒業
一橋大学社会学部

砂崎 和崇

「高みを目指すための場としての栃高」

国際化の進展とAI技術の発展により、現代社会が求める人材は以前とは大きく異なっている。そんな人材になるために必要な要素を身に着ける準備段階の場として栃高をお勧めしたい。栃高には高みを目指すために必要な環境が整っている。熱心な先生、高い志を持つ仲間、周りに娯楽施設のない静かな環境、夜遅くまで自習することが可能な学成寮など、勉強するにはもってこいの環境である。

そして、学習面だけでなく人間として成長する場としても栃高は最適な場所である。栃高では、生徒たちは積極的に部活動に加入し、また、学校行事も非常に盛んである。部活動では、より実力を高めるために練習することももちろん大切だが、人間関係から学ぶことは将来死ぬまで役に立つものになるだろう。学校行事に関しては、栃高祭では主体的に動き、仲間と協力することで協働性を高めることができる。そして、耐久レースでは当日に向けて二か月前から練習し、本番でゴールした時の爽快感は格別であり、受験勉強に必須な努力の大切さとその達成感を短期間で感じることができる。

このように栃高には自らを成長させてくれる環境が整っており、男だけで過ごす三年間は濃密で最高の思い出になるだろう。

平成30年度卒業
新潟大学医学部

折田 佳哉

「未来の栃高生へ」

「男子校は女子もいないし、なにしろ暑苦しそう……。」
これは栃高に入る前誰しもが思ったことだ。

しかし実際に入学してみるとどうだろうか。野郎しかいないことでかえって周りの目を気にせずにのびのびと生活でき、栃高スポーツ祭や文化祭などの学校行事は異様なほどの盛り上がりを見せる。また夜10時まで学校に残ることができたのは、熱心な教員や質の高い学習設備を有する栃高ならではの環境といえよう。私は栃高での3年間で数多くのことを学び・吸収することができた。その中でも1番の財産は「主体性」が身についたことである。

聞くのではなく参加する授業では、友達と議論していく中で新たな知見や価値観に出会うことができた。また、栃高祭は構成や企画などを一から生徒だけで作り上げていくため、周りの状況を考え臨機応変に対応できるようになった。栃高という環境のおかげで、自分で考え、実行に移すという貴重な経験を数多く積むことができた。

高校3年間は間違いなく人生に大きな影響を与える。その期間を有意義で密度の濃いものにしたいと考えるそのあなた、栃高に入学しないという選択肢があるだろうか。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

進学状況

進学先	H30	H31	R2
国公立大学	101	107	98
私立大学	67	70	89
専門学校等	0	0	0
予備校等	66	54	53

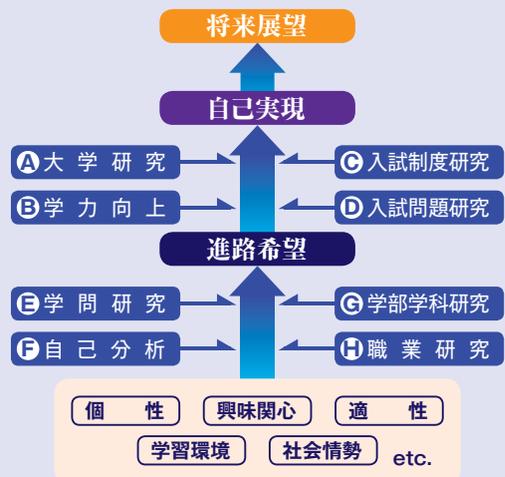
私立大学合格状況

大学名	H30	H31	R2
早稲田	18	14	15
慶応	8	10	11
上智	7	1	1
国際基督教	0	0	1
明治	29	21	18
青山学院	7	9	3
立教	10	11	9
中央	26	18	20
法政	27	15	25
学習院	7	2	5
東京理科	22	24	23
芝浦工業	38	32	34
日本	26	38	34
専修	11	3	11
同志社	5	1	1
立命館	7	5	3
私立大学合計	461	425	446

国公立大学合格状況

大学名	H30	H31	R2
北海道	4	4	4
東北	23	14	10
山形	3	4	4
福島	3	5	6
茨城	9	7	8
筑波	3	5	1
宇都宮	17	8	13
群馬	11	5	5
埼玉	10	4	7
千葉	3	9	6
電気通信	3	4	7
東京	4	3	1
東京外国語	1	3	0
東京工業	1	3	1
東京農工	0	1	0
一橋	0	1	2
横浜国立	2	1	1
新潟	11	20	14
金沢	2	7	1
信州	2	6	6
静岡	1	5	1
名古屋	1	0	1
京都	2	1	0
大阪	1	2	2
高崎経済	2	1	2
東京都立	3	2	2
国公立大医学部	6	8	3
国公立大合計	145	147	130

栃高進路指導の流れ



この流れを実現するために

- 面談 [A~H]
 - 東京研修 [AEGH]
 - SS校外研修 [AEGH]
 - 進路適性検査 [FH]
 - 学問探究講義 [EH]
 - 卒業生との懇談会 [A~H]
 - LHR〈進路学習〉 [A~H]
 - 東北研修 [AEGH]
 - 入試問題研究集録 [BCD]
 - 残留学習・学成寮 [B]
 - 進路指導委員会 [A~H]
 - 合格体験発表会 [BCDF]
- etc.